

星のたより

2022(令和4)年
6月号
Vol. 333

☆今月の豆知識☆
あ っという間に大型連休(GW)が終わったね。カレンダーを見ると、6月は祝日がない！GWにいっぱいあるからかなあ。職員さんに聞いたら、「夏至の日」も祝日にしてほしいって。確かに春分、秋分は祝日だし、いいかもね。

梅雨時期は、夜もプラネタリウム

～天体観望会と2本立て～

6月になると日没時刻が遅くなり、夜間観望会スタートの20時でもまだ空が明るい状態です。さらに梅雨時期とも重なり星が見えにくくなるため、6月10日(金)～7月18日(月・祝)の期間、夜間のメニューが、夜間観望会とプラネタリウムの2本立てとなります。通常は天候不良時の時だけプラネタリウム投影をおこなっていますが、この期間は天候に関係なくプラネタリウムで星空の予習をした後、103cm大型望遠鏡などで実際の星空を観察します。



新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い

～ご協力をお願いします～

さじアストロパークをご利用の際は、以下の項目にご理解の上ご利用いただきますよう、よろしくお願い致します。開館状況などの最新の情報は、さじアストロパーク公式ホームページ等でご確認ください。

- ◎風邪症状のある方の利用は控えてください。
- ◎入館時、受付で体温の測定をさせていただきます。37.5℃以上の方は、ご利用をお断りすることがありますのでご了承ください。
- ◎館内展示の見学は、お客様同士の間隔を十分に開けて、密集状態とならないよう配慮してください。
- ◎利用者の皆様は、必要に応じマスクの着用や消毒液での手洗いにより、感染拡大防止に努めてください。

安心して利用してもらえるように、換気設備を増設して開館中だよ。



イベント★耳より情報

☆新型コロナウイルスの影響で変更となる場合があります。公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆ 「第28回星景写真コンテスト入賞作品展」3月16日(水)～6月19日(日)
「星取県を楽しもう」6月22日(水)～9月19日(月・祝)

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 オリジナル番組「銀河」2月16日(水)～6月19日(日)
470億光年の、その先へ 6月22日(水)～9月19日(月・祝)

☆夜間観望会☆ ☆6月のテーマとおすすめ情報

おとめ座の一等星スピカ	3(金)、4(土)
月の撮影にチャレンジ	10(金)、11(土)
満天の星とりょうけん座の星団M3	17(金)、18(土)
満天の星とりょうけん座の子持ち銀河	24(金)、25(土)
観望会で満天の星が楽しめる	1(水)～4(土)、17(金)～19(日)、 22(水)～26(日)、28(火)～30(木)
観望会で月がよく見える	7(火)～12(日)



☆6月の休館日 6(月)、13(月)、20(月)、21(火)、27(月)

※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

定員20名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「銀河」を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止につきましてご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

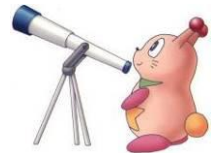
テーマ番組「470億光年の、その先へ」6月22日から投影スタート

2月16日から投影している、オリジナル番組「銀河」。みなさんはもうご覧になったでしょうか。「銀河」の投影は6月19日(日)まで。6月22日(水)からは、新番組「470億光年の、その先へ」がスタートします。

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

定員20名、要予約で実施中

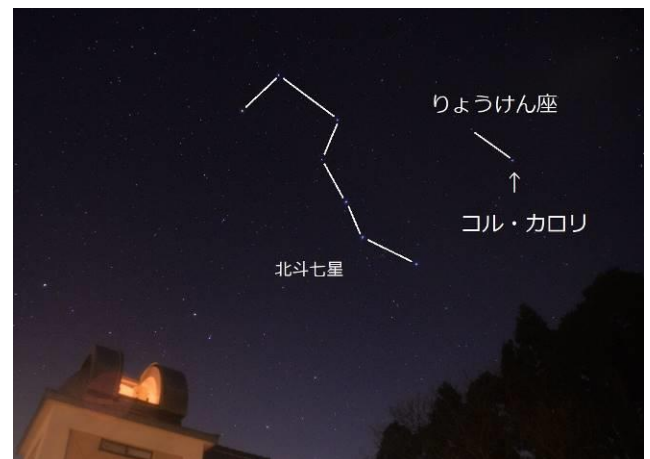
103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を20名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



6月の注目天体情報

☆見ごろの星座：りょうけん座

星座としてはあまり知られていませんが、見ごたえのある星団や銀河があり、知っておいていただきたい星座の一つです。りょうけん座の「コル・カロリ」という星は、望遠鏡で観察しやすい二重星として有名です。肉眼では一つにしか見えませんが、望遠鏡では白っぽい星とうす紫色の星が寄り添う姿を見ることができます。



☆りょうけん座の天体

りょうけん座でおすすめ天体、一つ目は「球状星団・M3」です。小さな望遠鏡でも星が密集している様子がなんとなくわかりますが、103cm大型望遠鏡で観察すると星がぎっしりと集まっているのがよくわかります。二つ目のおすすめは「子持ち銀河M51」です。私たちの銀河系の外の天体で、望遠鏡で観察してもとても淡いのですが、月明かりがない好条件の時は、103cm大型望遠鏡で観察すると、渦巻の様子や大小二つの銀河がつながっている様子を見ることができます。



☆テレビ観望システム

4月から10月までは毎週金・土の観望会で運用します。103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。このシステムは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(令和2年度)を活用して整備されました。



天文現象とイベント

6月下旬に月と惑星の接近を見ることが出来ます。ただ、明け方に起こるため、早起しないと見ることが出来ません。ぜひ、早起（午前3時30分ころ）して見てみましょう。

また、天文台1階では期間展示を行っています。まもなく入れ替えとなりますので、まだ見ていない方はぜひ早めにご覧ください。

月と惑星の接近



6月22日の明け方、南東の空に昇った木星に、下弦を過ぎた月（月齢は22）が接近します。間隔は約3.5度と近く、7倍の双眼鏡で同一視野に見ることが出来ます。

6月23日には、火星と月（月齢23）が接近します。その間隔は約1.5度とかなり近く、こちらも7倍の双眼鏡で同一視野に見ることが出来ます。

ちなみに火星は12月の中接近に向けて、明るさがだんだんと明るくなっていきます。



6月26日には金星と細い月（月齢26）が並びます。また、すぐそばにはおうし座のすばる（プレアデス星団）を見ることが出来ます。月、金星、すばるを7倍双眼鏡で同一視野で見ることにはできませんが、月と金星、月とすばるの接近した様子を肉眼で見ることが出来ます。



※本文中の画像は、Astroarts/Stellanavigator を使って作成しました。

期間展示情報



1席の作品

現在、天文台1階では「第28回星景写真コンテスト入賞作品展」を行っています。95点の中から選ばれた素晴らしい作品16点を展示しています。展示期間は**6月19日（日）**までとなっています。まだご覧になっていない方はぜひ早めにご覧ください。そして、次の展示が6月22日（水）から始まります。「**星取県を楽しもう**」と題して、鳥取県内の天文愛好家の方が撮影された星の写真を中心に、「星取県」の美しい星空を紹介します。こちらもぜひご覧ください。

期間展示「星取県を楽しもう」

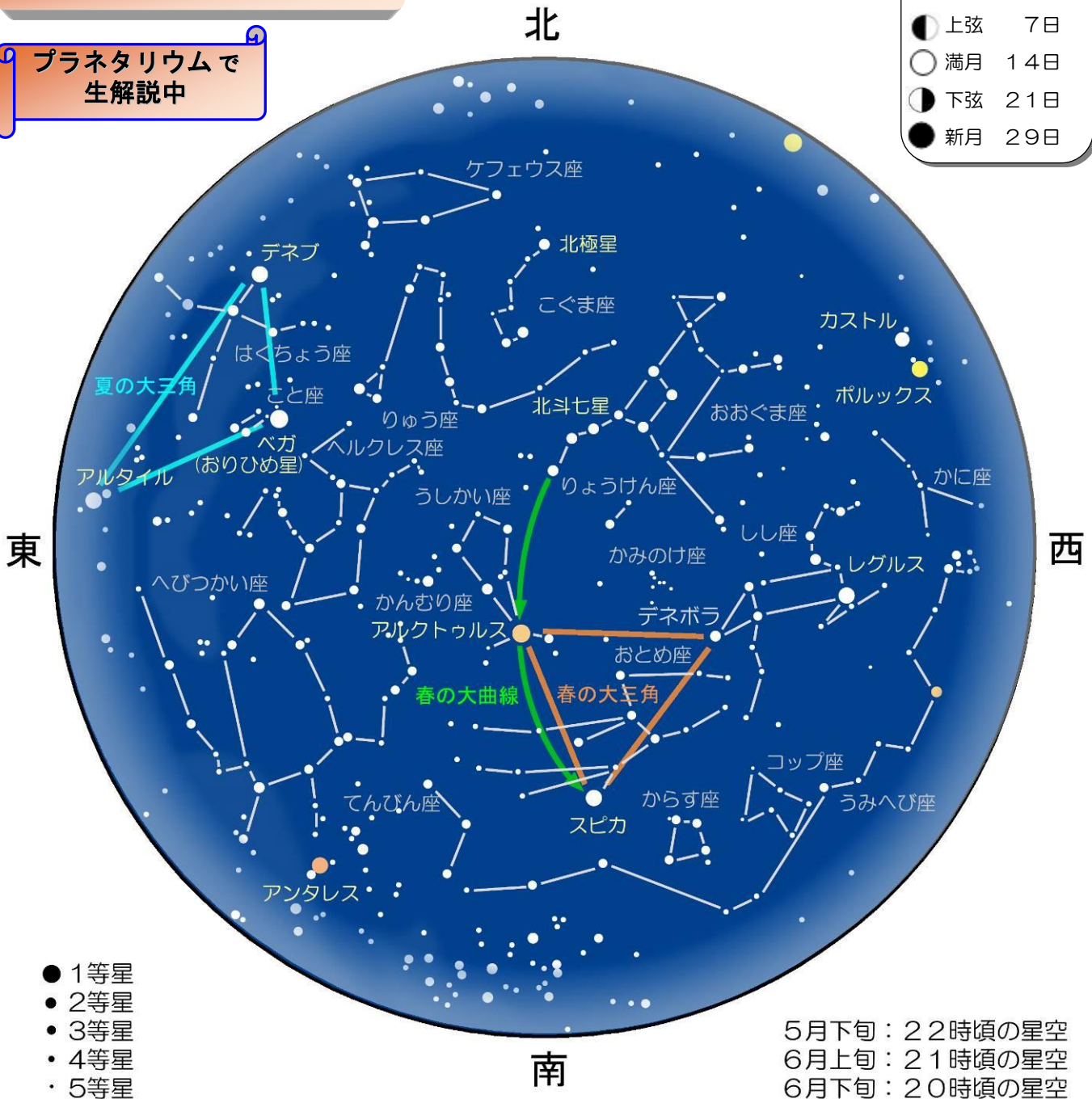
期間：6月22日（水）～9月19日（月・祝）

料金：一般（高校生以上）300円/中学生以下無料

2022年6月の星空

6月の月の暦	
☾ 上弦	7日
☽ 満月	14日
☾ 下弦	21日
● 新月	29日

プラネタリウムで
生解説中



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

5月下旬：22時頃の星空
6月上旬：21時頃の星空
6月下旬：20時頃の星空

☆今年の6月21日は「夏至の日」。1年の中で太陽が最も北寄りからの昇り、最も空高いところを通過して、最も北寄りに沈みます。日没も遅くなって星空を楽しむ時間が短くなりますね。

☆5月に続いて春の星がたくさん見えています。「北斗七星」を見つけて、「春の大曲線」をなぞって「春の大三角」を結んでみましょう。「アルクトゥルス」「スピカ」は、色の違いが楽しめる1等星です。

☆東の空には、早くも夏の星たちが見え始めています。東から北寄りにかけて「夏の大三角が昇ってきました。春の大三角とは形が違いますので、2つの大三角を見比べてみましょう。南寄りには「さそり座」の1等星「アンタレス」も昇ってきました。



さじアストロパーク

プラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク
〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103
<http://blog.zige.jp/saji-astro/>
e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp